

尾崎の歴史・文化・環境

歴史

田能遺跡^①、大物周辺^②、 尾崎城^③

紀元前の先進的な暮らしが分かる弥生時代の大集落跡「田能遺跡(国指定史跡)」や、中世に流通の場として都と深くつながり発展を遂げた大物周辺など、尾崎は古くから豊かな歴史がある地域です。



田能遺跡



尾崎城

また江戸時代初期、幕府の西国支配の拠点である大坂の西の守りとなる新たな城郭として尾崎城が築城され、城下町が形成されました。明治維新による廃城後、平成31(2019)年に再建され、平成最後の城として親しまれています。

文化

近松門左衛門、白髪一雄

江戸時代の劇作家として人形浄瑠璃と歌舞伎の世界で活躍した近松門左衛門の墓所は、市内の広済寺にあります。また、抽象画家の白髪一雄は尾崎で生まれ育ち、足で描く技法「フット・ペインティング」という独自の画法を確立し世界的に評価されています。



大威徳尊 1973年 尾崎市所蔵
©The Estate of Kazuo Shiraga



尾崎薪能

野外でかがり火をたきながら行う薪能。尾崎では「尾崎薪能」が毎年開催されます。尾崎こども能楽教室で日々練習に励む地域の子どもたちも出演します。



環境



尾崎の森中央緑地^④

尾崎臨海地域の約1000ヘクタールで、自然と人が共生する環境共生型のまちづくりを目指す尾崎21世紀の森構想。エリア内の中央緑地には地元で採れた種から育てた苗木を植えた森がつくられ、家族連れなどでにぎわう多彩なイベントも開催されます。



武庫川髭の渡し コスモス園^⑤

地域住民を中心としたボランティア団体が、一時は荒れ果てていた河川敷を見事なコスモス園に生まれ変わらせ誕生した武庫川髭の渡しコスモス園。10月下旬から11月中旬にかけて約550万本が咲きそろうコスモス園は、尾崎の秋の名所です。



夏の風物詩・ホタル^⑥

市民のみなさんの保全活動により、毎年5月～6月頃、西武庫公園ではゲンジボタル、農業公園や猪名川・藻川周辺ではヒメボタルを観賞することができます。

